

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 九州財務局長

**【提出日】** 平成23年8月11日

**【四半期会計期間】** 第33期第1四半期(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

**【会社名】** 株式会社ヒガシマル

**【英訳名】** HIGASHIMARU CO.,LTD.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 東 紘一郎

**【本店の所在の場所】** 鹿児島県日置市伊集院町猪鹿倉20番地

**【電話番号】** (099) 273 - 3859 (代表)

**【事務連絡者氏名】** 管理副部長 上野 善博

**【最寄りの連絡場所】** 鹿児島県日置市伊集院町猪鹿倉20番地

**【電話番号】** (099) 273 - 3859 (代表)

**【事務連絡者氏名】** 管理副部長 上野 善博

**【縦覧に供する場所】** 証券会員制法人福岡証券取引所  
(福岡市中央区天神二丁目14番2号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第32期 第1四半期 連結累計期間		第33期 第1四半期 連結累計期間		第32期	
	自 至	平成22年4月1日 平成22年6月30日	自 至	平成23年4月1日 平成23年6月30日	自 至	平成22年4月1日 平成23年3月31日
売上高 (千円)		1,771,202		1,853,270		8,487,819
経常利益又は経常損失 ( ) (千円)		7,450		962		87,384
当期純利益又は 四半期純損失 ( ) (千円)		33,377		25,520		61,984
四半期包括利益又は包括利益 (千円)		118,454		3,536		54,346
純資産額 (千円)		4,120,461		4,145,760		4,184,569
総資産額 (千円)		9,215,253		9,817,466		8,973,763
1株当たり当期純利益又は 四半期純損失 ( ) (円)		7.09		5.42		13.17
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)						
自己資本比率 (%)		44.7		42.2		46.6

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 第32期連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 4 第32期第1四半期連結累計期間及び第33期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 5 第32期第1四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社、以下同じ。)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災により物流が寸断あるいは混乱し、景気は大幅に落ち込みましたが、サプライチェーンの復旧に伴って経済活動は持ち直しに転じております。

また、震災直後の食料品及び生活必需品の品薄や原料調達等の滞り、原料及び資材等の値上がりなど、当社を取り巻く経済環境は厳しいものとなっております。

このような状況のなか、水産事業では飼料の販売量が減少し、養殖用稚魚及び成魚等の販売が伸び、食品事業では震災後の一時的な品薄に対応して即席めん類の増産を行った結果、売上高は18億53百万円と前年同四半期と比べ82百万円（4.6%）の増収となりました。損益面につきましては、売上高の増加と経費削減により営業利益は32百万円（前年同四半期は13百万円の営業損失）となり、経常利益は962千円（前年同四半期は7百万円の経常損失）、四半期純損失は25百万円（前年同四半期は33百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### 水産事業

水産事業におきましては、マダイ飼料類の販売が減少し、稚魚及び活魚等の販売が増加した結果、売上高は13億48百万円と前年同四半期と比べ9百万円（0.7%）の減収となりました。セグメント利益は、為替差損により39百万円の損失（前年同四半期は23百万円の利益）となり、前年同四半期と比べ62百万円の減益となりました。

#### 食品事業

食品事業におきましては、即席めん類及びそうめん類の販売が増加した結果、売上高は5億4百万円と前年同四半期と比べ91百万円（22.1%）の増収となりました。セグメント利益は76百万円と前年同四半期と比べ42百万円（129.2%）の増益となりました。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ8億43百万円増加し、98億17百万円となりました。これは、主として現金及び預金が4億91百万円、受取手形及び売掛金が3億52百万円、商品及び製品が94百万円それぞれ増加し、原材料及び貯蔵品が68百万円、機械装置及び運搬具が45百万円減少したことなどによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ8億82百万円増加し、56億71百万円となりました。これは、主として買掛金が2億6百万円、短期借入金が7億76百万円増加し、長期借入金が81百万円減少したことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ38百万円減少し、41億45百万円となりました。これは、主として繰延ヘッジ損益が13百万円、配当金の支払及び四半期純損失により利益剰余金が67百万円減少し、為替換算調整勘定が44百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

本年6月29日提出の有価証券報告書に記載のとおり、原材料、燃料及び資材等の価格、為替等の動向に注視しつつ、生産及び販売コストの削減に努めてまいります。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間のグループ全体の研究開発費の総額は36百万円であります。

(注) 当第1四半期連結累計期間は、「第4 経理の状況」において四半期連結キャッシュ・フロー計算書を掲げていないため、キャッシュ・フローの状況に関する分析・検討内容は記載していません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	17,900,000
計	17,900,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成23年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成23年8月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	4,746,000	4,746,000	福岡証券取引所	単元株式数は 100株であります。
計	4,746,000	4,746,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成23年4月1日～ 平成23年6月30日		4,746		603,900		393,400

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 40,800		単元株式数100株
完全議決権株式(その他)	普通株式 4,705,000	47,050	単元株式数100株
単元未満株式	普通株式 200		1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	4,746,000		
総株主の議決権		47,050	

【自己株式等】

平成23年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ヒガシマル	鹿児島県日置市伊集院町 猪鹿倉20番地	40,800		40,800	0.85
計		40,800		40,800	0.85

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,156,153	1,647,379
受取手形及び売掛金	1,231,276	1,583,520
商品及び製品	443,803	538,363
仕掛品	91,431	90,050
原材料及び貯蔵品	1,054,250	985,448
その他	185,401	209,252
貸倒引当金	2,813	2,246
流動資産合計	4,159,502	5,051,769
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,193,805	1,179,058
機械装置及び運搬具（純額）	874,944	829,430
土地	1,763,746	1,763,746
その他（純額）	49,010	56,345
有形固定資産合計	3,881,507	3,828,581
無形固定資産	49,993	47,297
投資その他の資産		
投資その他の資産	926,573	933,632
貸倒引当金	43,813	43,813
投資その他の資産合計	882,759	889,819
固定資産合計	4,814,260	4,765,697
資産合計	8,973,763	9,817,466



	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	406,035	612,935
短期借入金	1,766,632	2,542,873
未払法人税等	35,827	15,644
賞与引当金	92,830	23,719
その他	430,012	543,713
流動負債合計	2,731,338	3,738,886
固定負債		
長期借入金	1,066,000	985,000
退職給付引当金	37,122	37,822
役員退職慰労引当金	478,795	441,127
その他	475,937	468,870
固定負債合計	2,057,855	1,932,819
負債合計	4,789,193	5,671,706
純資産の部		
株主資本		
資本金	603,900	603,900
資本剰余金	458,400	458,400
利益剰余金	3,473,609	3,405,742
自己株式	28,938	28,938
株主資本合計	4,506,971	4,439,104
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,061	10,805
繰延ヘッジ損益	292,467	305,732
為替換算調整勘定	42,996	1,582
その他の包括利益累計額合計	322,401	293,344
純資産合計	4,184,569	4,145,760
負債純資産合計	8,973,763	9,817,466

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	1,771,202	1,853,270
売上原価	1,495,143	1,547,337
売上総利益	276,058	305,932
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	77,547	81,289
給料及び賞与	60,697	61,383
賞与引当金繰入額	16,079	6,203
役員退職慰労引当金繰入額	3,590	3,590
その他	132,091	133,844
販売費及び一般管理費合計	290,005	273,903
営業利益又は営業損失( )	13,946	32,029
営業外収益		
受取利息	1,428	259
受取配当金	1,696	1,716
為替差益	4,381	-
受取保険金	6,240	-
役員退職慰労引当金戻入額	-	40,618
雑収入	2,948	5,213
営業外収益合計	16,694	47,807
営業外費用		
支払利息	8,041	6,338
為替差損	-	72,224
雑損失	2,157	311
営業外費用合計	10,198	78,874
経常利益又は経常損失( )	7,450	962
特別利益		
補助金収入	-	3,142
特別利益合計	-	3,142
特別損失		
固定資産除却損	-	97
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	12,645	-
特別損失合計	12,645	97
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	20,095	4,007
法人税、住民税及び事業税	16,490	13,811
法人税等調整額	3,207	15,716
法人税等合計	13,282	29,528
少数株主損益調整前四半期純損失( )	33,377	25,520
四半期純損失( )	33,377	25,520

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失( )	33,377	25,520
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	795	2,256
繰延ヘッジ損益	88,749	13,265
為替換算調整勘定	2,876	44,578
その他の包括利益合計	85,077	29,057
四半期包括利益	118,454	3,536
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	118,454	3,536
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【追加情報】

当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正から、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

売上高の季節的変動

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

養魚用配合飼料の需要は、養殖魚の成長過程に応じ、成育が旺盛になる夏から初冬までが多く、水温が低下し餌食いが鈍くなる冬から春は少なくなるという季節的変動があります。したがって、第1四半期連結累計期間の売上高は、第2四半期連結会計期間及び第3四半期連結会計期間と比べ低くなる傾向にあります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
減価償却費	80,608千円	79,077千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月25日 定時株主総会	普通株式	42,346	9	平成22年3月31日	平成22年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	42,346	9	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	水産事業	食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,358,025	413,176	1,771,202		1,771,202
セグメント利益	23,286	33,175	56,461	63,912	7,450

(注) 1 セグメント利益の調整額 63,912千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用等であり、提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費51,526千円、営業外収益1,861千円、営業外費用14,246千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	水産事業	食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,348,811	504,459	1,853,270		1,853,270
セグメント利益	39,278	76,023	36,745	35,783	962

(注) 1 セグメント利益の調整額 35,783千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用等であり、提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費42,927千円、営業外収益30,400千円、営業外費用23,257千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
1株当たり四半期純損失	7円09銭	5円42銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失(千円)	33,377	25,520
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純損失(千円)	33,377	25,520
普通株式の期中平均株式数(千株)	4,705	4,705

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年8月11日

株式会社ヒガシマル  
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 川 畑 秀 二 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 只 隈 洋 一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ヒガシマルの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ヒガシマル及び連結子会社の平成23年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。